

情報収集衛星に係る経費の令和5年度補正予算及び 令和6年度政府予算案

令和6年2月
内閣官房

1. 令和5年度補正予算の概要

安全保障及び危機管理に必要な情報収集体制を強化するため緊急に対応すべきものとして、以下の施策を行う。

- (1) 情報収集衛星の開発に必要な部品・材料等の調達、製作・試験や設計を可能な限り早期に実施することで、開発工程における重要な品質の問題等を早期に把握・解決する。
- (2) 打上げ用ロケットの組立・試験工程の前倒しを実施し、ロケットの組立・試験工程の時間を十分に確保することで、ロケット製造体制を強化し、確実なロケットの打上げを行う。

2. 令和6年度政府予算案の概要

今年度に引き続き、ユーザー・ニーズを踏まえつつ、10機体制が目指す情報収集能力の向上を早期に達成することを目標とし、令和6年度については、以下のような方針の下、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。

- (1) 光学8、9、10号機の開発を継続する。
- (2) レーダ7・8、レーダ9・10号機の開発を継続する。
- (3) 光学時間軸多様化衛星の開発を継続する。
- (4) レーダ時間軸多様化衛星の開発を継続する。
- (5) 令和8年度の運用開始に向け、第八期地上システムの開発を継続する。
- (6) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を継続する。

3. 令和5年度補正予算及び令和6年度政府予算案の内訳

(単位：億円)

経費区分	令和5年度 当初予算額 (A)	令和5年度 補正予算	令和6年度 政府予算案 (B)	対前年度 比較増減 (B)-(A)
(1) 情報収集衛星の運用等	219	0	318	99
(2) 光学8号機の開発	82	0	16	▲66
(3) 光学9号機の開発	115	7	57	▲58
(4) 光学10号機の開発	21	13	26	5
(5) レーダ7号機・8号機の開発	44	9	72	29
(6) レーダ9号機・10号機の開発	22	4	25	3
(7) 光学時間軸多様化衛星の開発	56	101	36	▲20
(8) レーダ時間軸多様化衛星の開発	25	141	37	12
(9) 衛星技術の調査研究等	42	0	35	▲7
合計	625	275	622	▲3

(注1) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

(注2) 光学9号機の開発には第八期地上システムの開発費を含む。

研究・開発及び打上げスケジュール

